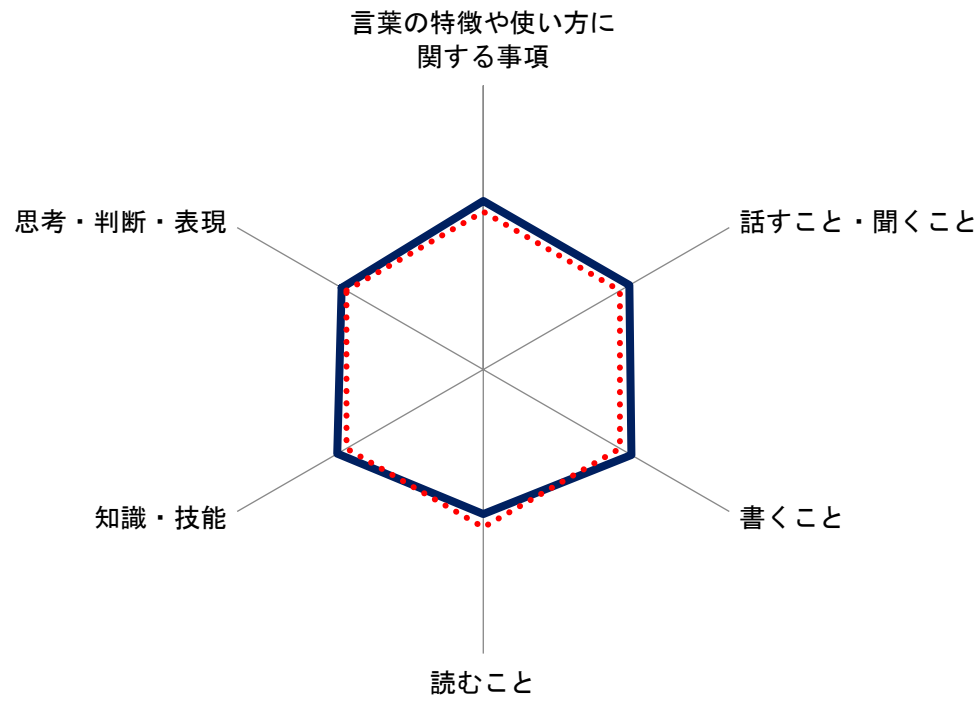


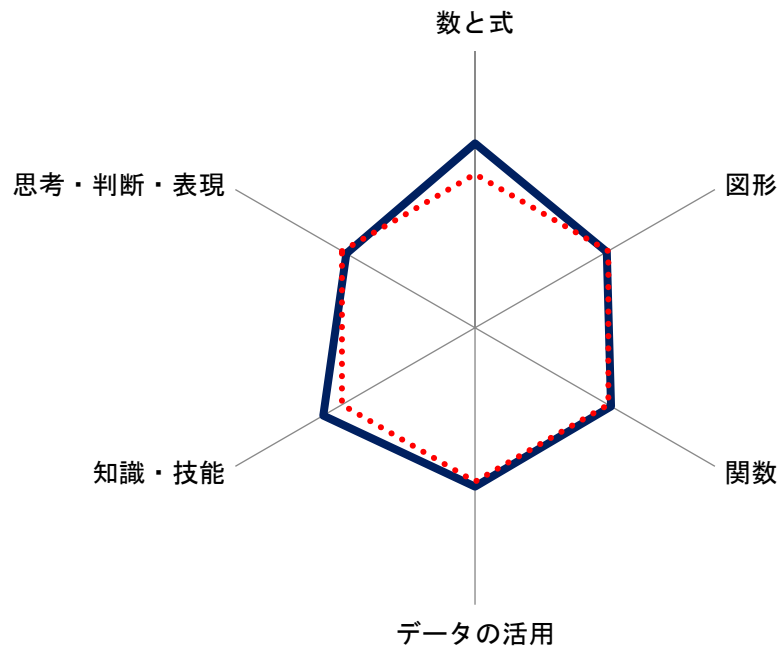
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均



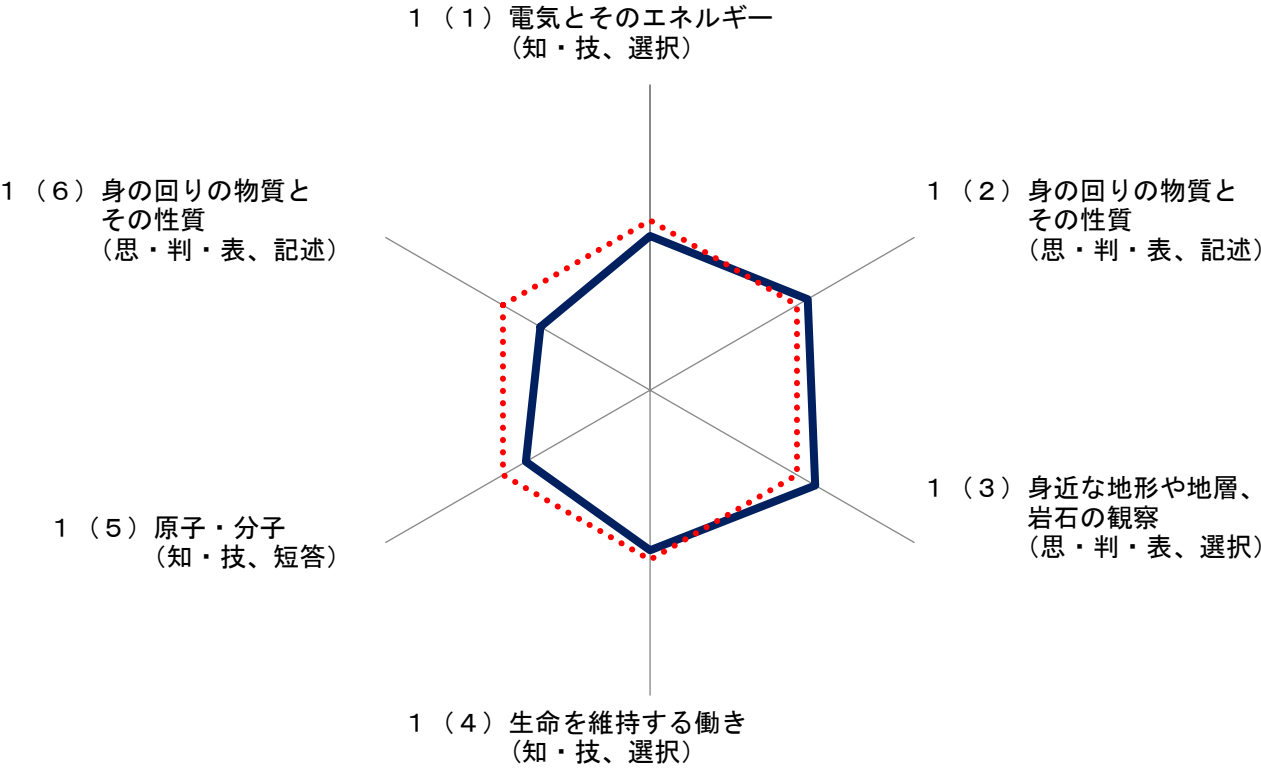
【数学】



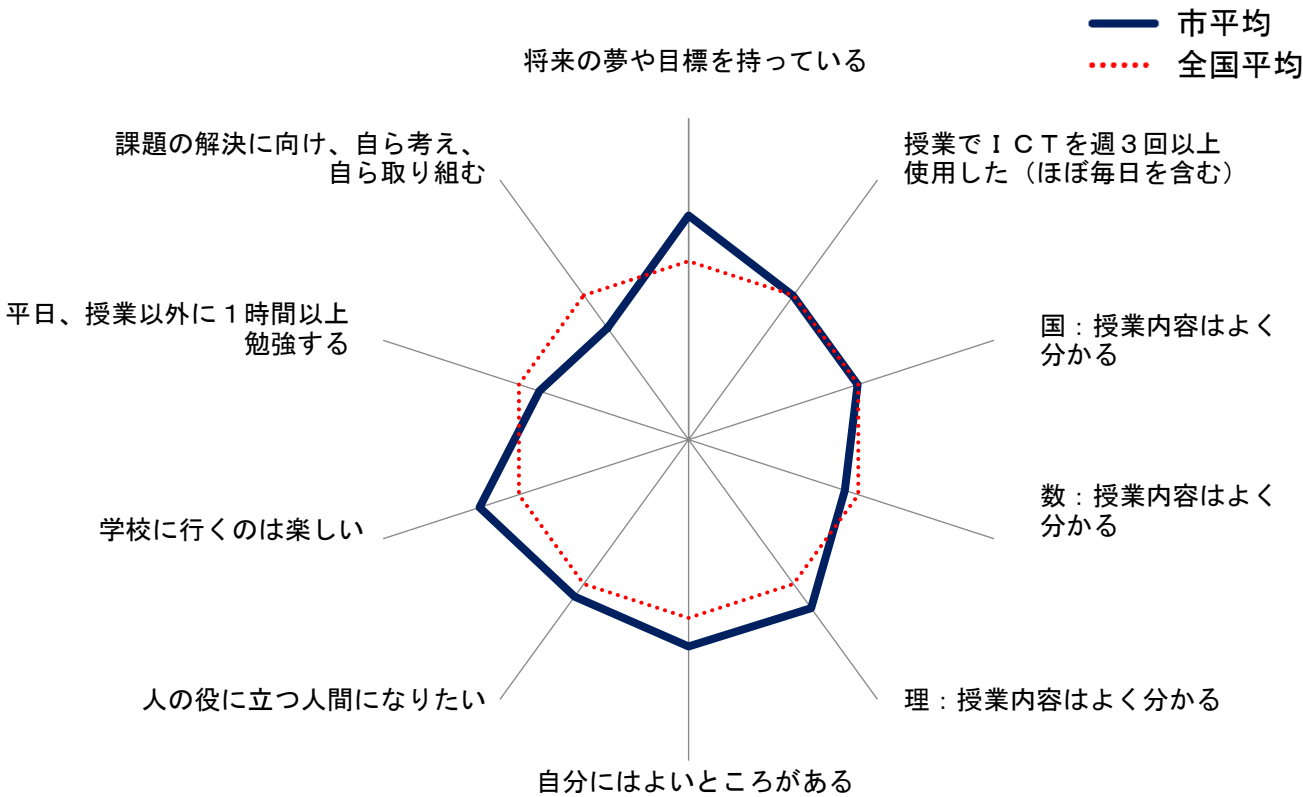
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)
【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに
全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの

— 市平均
..... 全国平均



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語と数学のほとんどの項目が全国平均とほぼ同じか上回っているものの、国語の「読むこと」の項目は全国平均を下回っている。また、理科の公開問題1 (6) は、全国平均を大きく下回っており、学習の振り返りにおいて新たな問題や身近な生活との関連について整理し表現することに課題が見られる。今後も、更なる学力の定着と向上を目指し、生徒が「分かる」「できる」を実感できる授業改善を推進するとともに、知識及び技能の確実な定着と、それを基盤とした思考力、判断力、表現力等の向上を相互に関連付け、学びの質を高める取組が望まれる。

生徒質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」の項目は、全国平均を大きく上回っている。また、「授業でICTを週3回以上使用した」、数学の「授業内容はよく分かる」の項目は、昨年度から全国平均との差が縮小され、改善が見られる。一方、「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」の項目は全国平均を大きく下回っており、課題である。今後は、市独自の「家庭学習の手引き」やICTを効果的に活用し、家庭学習における課題提示の工夫を通じて、基本的な学習習慣の確立を図るとともに、生徒が主体的に学びを進めることができる教育活動をより一層推進することが望まれる。